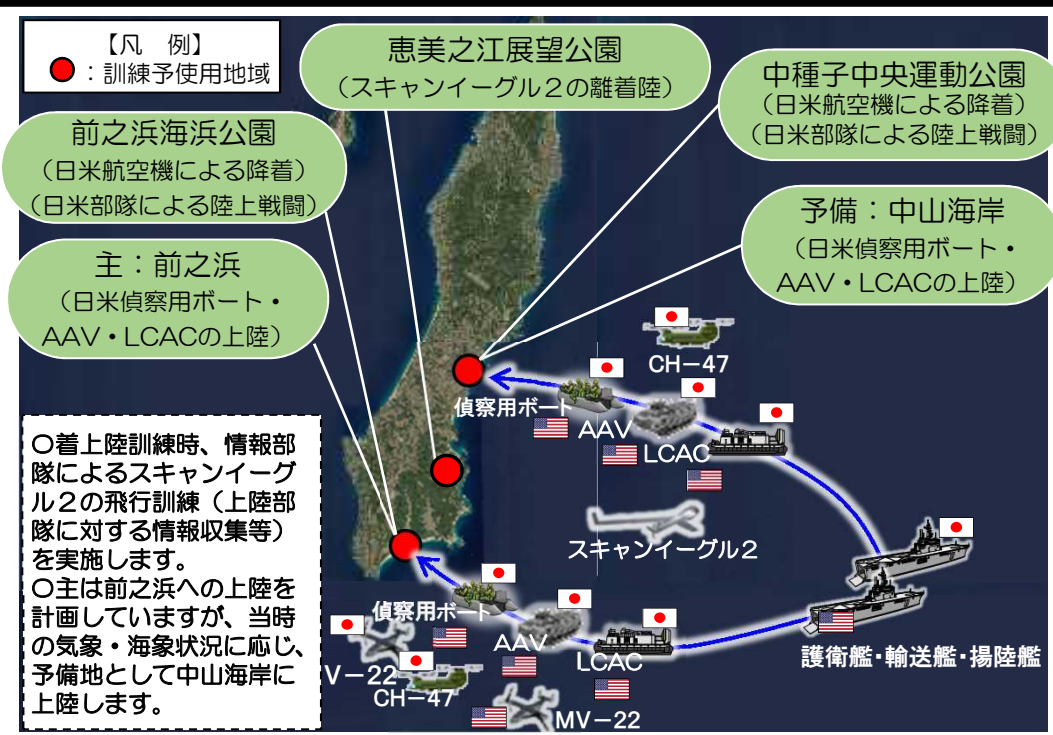


種子島の使用について（1 / 2）

種子島及びその周辺海域において、日米共同の着上陸予行及び陸上戦闘訓練を実施します。
 なお、天候等の状況により、種子島での訓練を中止する場合があります。

【期 間】令和8年3月1日（日）～3月4日（水）（左記期間の前後10日間程度をもって、準備・撤収を実施）
 【参加予定部隊】自衛隊：陸上自衛隊 約500名（水陸機動団、第1ヘリ団、第8師団、西方航空隊、AAV×10両程度、偵察用ボート×30艇程度、AH-64D×4機程度、OH-1×1機程度、CH-47×4機程度、V-22×3機程度、スキャンイーグル2×1機）
 海上自衛隊 約400名（護衛艦×1隻、輸送艦×1隻、LCAC×2艇程度 等）
 米 軍：米海兵隊 約700名（偵察用ボート×30艇程度、MV-22×4機程度、CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度 等）
 米海軍 約200名（揚陸艦×3隻程度、LCAC×2艇程度 等）
 ※ 事前訓練として、着陸地域の安全を確認するため、V-22及びCH-47が飛行予定
 ※ 人数・機数は、現時点で計画されているもの

使用予定場所



使用イメージ



偵察用ボートの航行



AAVの航行

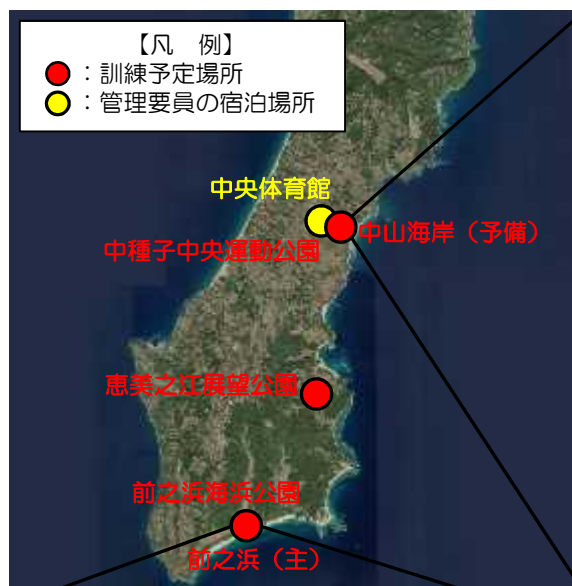


LCACの航行



航空機による降着

種子島の使用について（2／2）



訓練イメージ（中山海岸・中種子中央運動公園）

【中山海岸】

- 中山海岸に日米の偵察用ポート・AAV・LCACが上陸します。
- 上陸した日米の隊員は、軽火器（ゴム製）を携行し、海岸部分及び海岸西側の山林部に展開します。

【中種子中央運動公園】

- 中種子中央運動公園グラウンドに日米航空機（CH-47等）が降着します。（機数は調整中）
- 航空機の降着後、軽火器を携行した陸自隊員×50名程度及び米海兵隊隊員×50名程度が、航空機から降機し、同地で地域を確保する行動を訓練します。

訓練イメージ（前之浜・前之浜海浜公園）

【前之浜】

- 前之浜に日米の偵察用ポート・AAV・LCACが上陸します。
- 上陸した日米の隊員は、軽火器（ゴム製）を携行し、海岸部分及び海岸北西側の山林部に展開します。

【前之浜海浜公園】

- 前之浜海浜公園の広場に日米航空機（日：CH-47、V-22 米：MV-22）が1機ずつ【P】降着します。
- 航空機の降着後、軽火器を携行した陸自隊員×50名程度及び米海兵隊隊員×50名程度が、航空機から降機し、同地で地域を確保する行動を訓練します。

- 訓練を支援する管理要員（日：30名程度、米：確認中）が期間の前後10日間程度をもって、準備・撤収を実施します。（陸自管理要員は、中央体育館に宿泊させていただきます。）
- 本訓練間、弾薬の装填及び空包の使用予定はありません。
- 訓練間、中山海岸・中種子中央運動公園・前之浜海浜公園のトイレを日米の隊員が利用させていただきます。
- 訓練は夜間まで及び可能性があります。
- 飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行します。